



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆「鑑定やいかに!?!」◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、最近テレビで「なんでも鑑定団」を見ていて気になることがあります。実は、岡山にある私の実家が相当古い建物で、敷地の一番奥には2階建の蔵があります。「なんでも鑑定団」で掛け軸や陶磁器が出てくると、そういえば実家の蔵にあったなあと思い出し、いったいどれくらい価値があるんだろうか？と気になります。

その蔵も相当古く、またその蔵の中には曾祖父の(明治初期の)時代よりも前、江戸時代のものもあるんじゃないかと思うほどです。

掛け軸は50~60あり、また(岡山なので)備前焼らしき花瓶や壺。それから日本刀や祖父が戦時中に中国から持ち帰った(おそらく)中国の刀。あと鎧もあります。ちなみにこの鎧は、小さい頃は“武士”のものだと思って、自分は武士の子孫だと友達に自慢していたのですが、よくよく見ると鎧は上半身だけで、頭にかぶるのはラグビーのヘッドギアのようなとても簡単なもの。最近になって「これ“足軽”だなあ~」ということが判明...(汗)。

あとは父親が6人兄妹の男1人だったり、私も姉がいて男1人で、祖父も男1人で、女性3~4人だったこともあって、代々の日本人形。ビー玉のようなぎょろっとした目で、中には腕が取れているのがあったりで、なかなか怖い...

私は小さい頃に悪さをすると父親に怒られ、そんな日本人形が何体もあって、



何を切ったかわからない日本刀や中国の刀、それから鎧までもがある真っ暗な蔵に閉じ込められました。扉は重く、自分の力で開けることができず、怖くて大泣きしたことをよく覚えています。

また、曾祖父が本が好きな人で、明治時代の本も (2枚目へ→)

(続き→) けっこうあります。夏目漱石の「吾輩は猫である」も10巻くらい揃っているのですが、小さい頃、これを読んで勉強しようと思った私が赤ペンを引いてしまったり、落書きしてしまっていることで、おそらく価値を下げています…。(しかも、最初の10ページくらいで挫折した形跡あり…)

今年のお正月、2年振りに実家に帰ってその蔵に入ったのですが、私が小さい頃に集めていた物もありました。切手(大正や昭和初期、東京五輪、大阪万博、札幌冬季五輪や見返り美人、月に雁など当時でも高く取引されたもの)にはじまり、100円記念コイン(大阪万博、札幌冬季五輪他)、紙幣(聖徳大使の一万円札、五千円札、伊藤博文の千円札、板垣退助の100円札、岩倉具視の500円札)、硬貨(穴の空いてない50円・5円硬貨等)、メダル(昭和天皇即位〇〇年記念、新幹線博多開通記念)、ビー玉(きれいなものだけ)、ミニカー(きれいなものだけ)、昔流行のペナント(旅行先の土産)etc…。

これら全てを鑑定に出したら、いったいいくらになるんだろうか?もしかしたら大金持ちになれるのでは?と、ジャンボ宝くじを買ったときと同じような気分



に浸っています(笑)。ただ「鑑定はいかに!?’で「いち、じゅう、ひゃく、せん、まん、2万円です!」とか言われたらショックです…。もうこの歳になると、こういったドキドキワクワク感を得られることもそうないので、夢は夢のまま取っておこうと思っています(笑)。

◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきましてどうも有難うございました! 神奈中情報通信第18号はいかがでしたでしょうか?さて、最近、もの忘れがひどく、人の名前もパツと出てきません。さらに、最近は何れか持っているものをよく落とす…。私の脳までも“骨董化”が進んでいる様子。ちょっとまずいですね…(汗)。大森

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いたします■

【発行元】

株式会社
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート!

株式会社神奈中情報システム

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町7番35号

TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

発行責任者:神奈中情報システム

